



美濃・大仙寺の寺院構成（江戸時代）

近世禅宗寺院の空間構成・意匠の研究

杉野 丞（愛知工業大学教授）著

本体価格 二一、〇〇〇円＋税

A5判上製函入 本文三三四頁 挿図三二五点 ISBN 978-4-8055-0755-1 C3052

禅宗固有の建築空間と意匠は、中世から近世の

禅宗寺院へとどのように継承されたのか。

各地に残る禅宗寺院本堂の建築遺構を実証的に検討し、

近世禅宗建築の発展消長を明らかにする。

近世禅宗建築は、中世禅宗伽藍建築と異なり、全国各地に築かれた地方寺院の禅宗本堂が中心的な役割を果たした。本書は、近世における禅宗寺院本堂（臨済宗本堂・曹洞宗本堂）の空間構成と意匠について、全国の遺構について網羅的かつ実証的に分析・検討し、中世における臨済の公案禅、曹洞の黙照禅に象徴された禅風が、近世禅宗本堂の空間構成・意匠の展開を通し、禅の建築文化としていかに継承されたかを明示する。従来の中世禅宗建築に加え、近世における禅宗建築の発展を明らかにする本書は、近世禅文化の新たな理解の端緒となるものである。

お取り扱いは

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

近世禅宗寺院の空間構成・意匠の研究

杉野 丞（愛知工業大学教授）著

本体価格12,000円＋税

A5判上製函入 本文324頁 挿図325点 ISBN 978-4-8055-0755-1 C3052

目次

序論

第一節 序

第二節 本研究の目的

第三節 本研究の構成と内容

第一章 近世前期の臨済宗本堂

はじめに

第一節 近世臨済宗寺院の寺院構成

第二節 慶長期の臨済宗本堂（一五九六―一六一五）

第三節 元和・貞享期の臨済宗本堂（一六一五―一八八〇）

結び

第二章 近世中・後期の臨済宗本堂の分布と平面の発展

はじめに

第一節 近世中期の臨済宗本堂（一六八八―一七八二）

第二節 近世後期の臨済宗本堂（一七八二―一八六八）

結び

第三章 近世前期の曹洞宗本堂

はじめに

第一節 慶長・正保期の曹洞宗本堂（一五九六―一六四八）

第二節 慶安・貞享期の曹洞宗本堂（一六四八―一八八〇）

結び

第四章 近世中期の曹洞宗本堂の分布と平面の定着

はじめに

第一節 東海・甲信地方を中心とする平面形式の分布

第二節 平面形式の定着と開山堂・位牌の間の成立

第三節 大間・内陣と開山堂・位牌の間の意匠の発展

第四節 土間・広縁の架構意匠の発展

結び

第五章 近世後期の曹洞宗本堂の平面の分化と内部空間の発展

はじめに

第一節 平面形式の分化発展

第二節 大間・内陣を中心とする内部空間と意匠の発展

第三節 堂内外の荘厳と造営大工の影響

第四節 開山堂・位牌堂の発展

結び

結論

第一節 本研究の成果

第二節 本研究の意義

補論 中・近世の禅宗の塔頭客殿について

はじめに

第一節 中世の塔頭客殿について

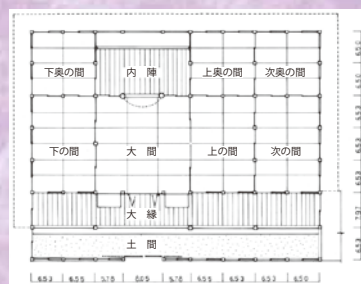
第二節 近世の塔頭客殿について

結び

あとがき／初出一覧／参考文献目録／図版目録



革秀寺本堂（青森）外観



革秀寺本堂（青森）復原平面図

杉野 丞（すぎの・のぼる）

一九五二年 静岡県生まれ
一九七七年 愛知工業大学工学部建築学科卒業
一九七九年 愛知工業大学大学院工学研究科修士課程修了
一九九〇年 中国・東南大学建築研究所客員研究員
一九九五年 名古屋大学工学研究科博士号取得
一九九六年 愛知工業大学助教授
二〇〇二年 愛知工業大学教授 現在に至る

【共著】

『総覧 日本の建築Ⅴ』日本建築学会編 昭和六十一年六月
『国宝 高岡山瑞龍寺』瑞龍寺国宝指定記念出版刊行委員会編 平成二年三月
『三重県史 別編 建築』三重県編 平成一五年三月
『愛知県史 別編 文化財Ⅰ 建造物・史跡』愛知県史編さん委員会編 平成一八年三月
『新編 岡崎市史 額田資料編Ⅰ』新編岡崎市史額田資料編編集委員会編 平成二十二年三月
『新修 豊田市史 別編 建築』新修豊田市史編さん専門委員会編 平成二十八年三月
『新編 知立市史 別巻 文化財編』知立市史編さん委員会編 平成二十八年三月

本書をお薦めする方々

日本建築史、住宅建築史、日本仏教史の研究者・研究室／博物館・郷土資料館・学芸員／各都道府県・市町村教育委員会／宮大工・社寺建設業関係者／寺院関係機関・関係者／大学・公共図書館など

関連書籍

関口欣也著作集 [全3巻]

【第1巻】 中世禅宗様建築の研究 本体価格 17,000 円＋税
A5 判上製函入 本文 456 頁 ISBN 978-4-8055-0640-0 C3052
2010 年 9 月

【第2巻】 江南禅院の源流、高麗の発展 本体価格 17,000 円＋税
A5 判上製函入 本文 432 頁 ISBN 978-4-8055-0641-7 C3052
2012 年 2 月

【第3巻】 五山と禅院 本体予価 13,000 円＋税
A5 判上製函入 ISBN 978-4-8055-0642-4 C3052
2016 年 2 月刊行予定

禅院の建築 禅僧のすまいと祭享 [新訂]

川上 貢 著 本体価格 4,300 円＋税

禅寺における塔頭は塔のほつりを意味し、塔をまつり永く保護をするための施設である。本書は、禅宗寺院における日々の生活空間であり、また儀式・儀礼も密接に関わる塔頭の建築に焦点を当て、その発生から変容への過程を明らかにする名著の改訂新版。

A5 判上製カバー装 本文 282 頁 挿図 45 点
ISBN 978-4-8055-0510-6 C3052
2005 年 9 月